

2013年度 社会福祉法人たまご会 事業報告書

1) 2013年度 社会福祉法人たまご会 事業総括

<情勢>

2013年4月から施行された障害者総合支援法。また2014年1月に批准した障害者権利条約。日本における障害者施策と、国際レベルでの障害者施策の決定的な違いは言うまでもなく、障害のある人が他の人と同じように地域で生活する権利が十分に保障されているか、いなくに尽きると言えます。残念ながら、無認可での事業所は少なくなったものの、まだまだ日本の場合、障害のある人にとって必要な社会資源（場所・物・支援方法・人材等）は十分とは言えないのが現状です。施行された障害者総合支援法においても、私たちが撤回を求め運動してきた応益負担の考えは残り、障害のある65歳以上の人への介護保険優先の考えも改まってはいません。今後も障害者分野にとどまらず、人間らしく豊かに生きる上での「社会保障を守る」という願いの元、他団体・他業種との連携も視野に入れながらの活動が求められます。

<たまご会事業全体総括>

2013年度、多機能事業の就労分野を除いて、すべての事業において利用者数が増えています。稼働日に関しても6月から月4回の土曜日開所を実施し、稼働日も増えています。その分、職員配置では連休での休みが取りにくく、常勤職員には特に負担を強いた格好になりました。年度後半、常勤職員が4名退職する中、職員の補てんも儘（まま）ならず（11月に常勤男性1名雇用）、現場職員の踏ん張りがあったからこそ乗り切れた1年であったと言えます。仲間の重度化、また広範囲に渡る仲間の利用が増える中、リフト車が足りなくなり送迎が困難となる事態もありましたが、幸い1月に日本財団によるリフト新車の贈与を受け、かろうじて対応できたと言えます。

先ほども述べましたが、重度化する仲間（医療的ケアが必要）が、たまご会利用を望む中で、その仲間への対応を視野に入れ、喀痰（かくたん）吸引等研修（看護資格がなくても研修により不特定な方に喀痰吸引や経管栄養の支援可能＝第2号研修）へ3名の職員に参加してもらい、いずれも研修を終え、喀痰吸引や経管栄養の支援ができるようになりました。

実践に関しては仲間の人権擁護の立場から取り組みを進めてきましたが、身体的な虐待（暴力・体罰）はないにせよ、ネグレクト的な虐待（放置・無視）といった実践的に弱い取り組みについては研修等でも取り上げ、実践の質を高めるために具体的にどんな取り組みをすれば良いかといった方法論だけではなく、その奥深い人間をとらえる視点（人間観・障害観・指導観）なども学んできました。どちらにしても息長い取り組みであることも含め、仲間に向き合う職員が燃え尽きないように職員一人一人との関係性も深めながら、柔らかくそして逞しい職員集団作りに向けて研修を積み上げていきました。そうした中で、たまご会職員行動規範づくりを職員参加型研修の中で自分たちの物として作り上げたことは大きな歩みであったと言えます。今後は自分たちで決めた行動規範に基づき、障害のある仲間の発達を保障していくことにつなげていきたいと考えています。なお、苦情受付担当者や第三者委員、家族代表者による、虐待防止委員会を設置し、14年度からは3ヵ月おきに虐待防止委員会を開催していきます。

<年間利用実績表>

		年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10	11	12	1月	2月	3月	合計
業 (多 機 能 型) 生 活 介 護 事 業	開 所 日	12	23	24	23	24	23	22	24	23	21	22	22	23	274
		13	23	24	24	26	24	23	26	24	23	23	22	24	286
	利 用 数	12	598	624	613	617	572	569	650	625	547	576	566	565	7,122
		就 労	127	143	151	145	121	125	140	137	115	121	116	125	1,566
		生 活	471	481	462	472	451	444	510	488	432	455	450	440	5,556

		13	643	673	663	687	634	592	698	655	627	627	563	622	7,684	
		就労	129	134	118	122	113	110	129	110	96	106	85	92	1,344	
		生活	514	539	545	565	521	482	569	545	531	521	478	530	6,340	
	日平均	12	26.0	26.0	26.6	25.7	24.8	25.8	27.0	27.1	26.0	26.1	25.7	24.5	26.0	
		就労	5.5	5.9	6.5	6.0	5.2	5.6	5.8	5.9	5.4	5.5	5.2	5.4	5.7	
		生活	20.4	20.0	20.0	19.6	19.6	20.1	21.2	21.2	20.5	20.6	20.4	19.1	20.2	
		13	28.0	28.0	27.6	26.4	26.4	25.7	26.8	27.3	27.3	27.3	25.6	25.9	26.9	
		就労	5.6	5.6	4.9	4.7	4.7	4.8	5.0	4.6	4.2	4.6	3.9	3.8	4.7	
		生活	22.3	22.5	22.7	21.7	21.7	20.9	21.9	23.7	23.1	22.6	21.7	22.1	22.2	
	生活介護Ⅰ	利用数	12	424	444	409	440	424	403	454	438	394	390	386	427	5,033
			13	431	474	469	508	469	460	498	441	433	438	435	490	5,546
		日平均	12	18.4	18.5	17.7	18.3	18.4	18.3	18.9	19.0	18.7	17.7	17.5	18.5	18.3
13			18.7	19.8	19.5	19.5	19.5	20.0	19.1	18.3	18.8	19.0	19.7	20.4	19.3	
短期入所	稼働日数	12	19	26	19	22	26	21	23	24	21	21	20	22	264	
		13	22	26	19	23	21	25	24	21	21	23	22	26	273	
	利用数	12	77	96	72	88	104	76	90	93	75	84	76	84	1,015	
		13	89	96	75	92	80	87	89	83	76	82	82	96	1,027	
	日平均	12	4	3.6	3.7	4	4	3.6	3.9	3.8	3.5	4	3.8	3.8	3.8	
		13	4.1	3.7	4.0	4.0	3.8	3.5	3.7	4.0	3.6	3.6	3.7	3.7	3.8	
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10	11	12	1月	2月	3月	合計		
ケアホーム	稼働日	12	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	
		13	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	
	利用数	12	228	228	237	241	226	202	213	199	209	206	191	201	2,581	
		13	210	240	240	243	233	238	231	235	242	229	199	215	2,755	
	日平均	12	7.6	7.3	7.9	7.7	7.2	6.7	6.8	6.6	6.7	6.6	6.8	6.4	7.0	
		13	7.0	7.7	8.0	7.8	7.5	7.9	7.5	7.8	7.8	7.4	7.1	6.9	7.5	

<各事業報告と次年度計画>

社会福祉法人たまご会 2013年度(クッキー・アイス)グループ 事業報告書 担当職員(石原)

クッキー・アイス グループ 年間の反省と成果	仲間の工賃向上をめざし販売拡大や新作の販売を取り組んできたが売上向上には至らなかった。販売先でのマージンが引かれることによって、売り上げが伸びず赤字が続いている。
------------------------------	---

	事業名	反省・成果・課題
4	広島菓子博（4月24日） 呉港まつり（4月29日）	菓子博に初参加。レモンシュガーが人気でパリットが不人気だった。売れ筋が把握できていれば、売上向上につながっていたのではないかと。
5	広島菓子博（5月1日・8日） 心優堂販売（5月26日）	菓子博用のアイスが溶けるアクシデントがあり、種類が用意できず売り上げにつながらなかった。
6		行事がなく売り上げ減少
7	夏季販売	クッキーの注文において個数セットよりも、1個単位での注文が伸びた。
8	24時間テレビ（8月25日） 夏祭り（8月31日）	夏祭りでは、クッキー・アイス共に新作を販売。アイスの新作（アサイーシャーベット）は万人に受ける味ではないという意見あり。
9	わいわいふれあい交流会（9月29日）	パリットを多く用意していたが売り切れ。来年は数を増やす方向で考える。
10	心優堂販売（10月6日） 福祉祭り（10月27日）	行事に向けての生産が中心となる。
11	呉特別支援学校バザー（11月2日）	バザーの日が黒瀬特支との同日になったため、呉特支での販売のみとなる。昨年度はパニラアイスが売れたので用意はしたが、売れ残ってしまった。
12	ふれあいコンサート（12月7日） 冬季販売	冬季販売やクリスマス限定クッキー、新作限定アイスを販売し好評を得る。
1		バレンタインデーに向けての新作づくりに取り組む。一部材料費の単価を下げる。
2		クッキー、バレンタインデー限定。ショコラティーの販売を行い好評。
3		消費税8%から10%を見越しての価格設定を行い、次年度への準備を行う。

社会福祉法人たまご会 2014年度（クッキー・アイス）グループ 事業計画書

クッキー・アイス グループ 年間のねらい	4月1日からクッキー・アイスの価格、内容量、ラッピングを変更しての販売をスタートする。売り上げが減少し、仕事の量や質、仲間のモチベーションが低下しないよう、売上げ向上、工賃向上を目指していく。計画的な製造を行い欠損や賞味期限が近くなつての値下げ個数を減らしていく。
----------------------------	--

	事業名	ねらい・目標
4	呉港まつり 月6回のクッキー・アイスの配達	配達時に挨拶ができるように指導していく

5	心優堂販売		夏季販売に向けて早めに新作を準備する。
6	新作づくり		
7	夏季販売		学校回り、地域回りに参加して販売にも関わる。
8	24時間テレビ 夏祭り		夏祭りでは販売に参加する。
9	振り返り		半年を振り返り、がんばったこと、難しかったことを発表し今後につなげていく。
10	新作づくり		冬季販売に向けて、早めに新作づくりに取り組む。
11	支援学校バザー		
12	ふれあいコンサート		
1			
2	月6回のクッキー・アイスの配達		
3	1年振り返り	↓	1年を振り返り、がんばったこと、難しかったことを発表し今後につなげていく。

2013年度（リラク）グループ 事業報告書

担当職員（清水）

リラクグループ 年間の反省と成果	各季節に応じた作品作りを通し、職員とマジックなどを使って描いたり、紙や粘土を手で固めたり、紙をちぎっていくなど、それぞれの作業の中で、少しずつできることが増え、また個性が出てきた。ボール運動などを通しグループ活動での仲間のつながりも少しずつもてるようになってきた。
---------------------	--

	事業名	反省・成果・課題
4	屋外活動（散歩・森林浴）	室内での活動とは違い、じっと空を見たり、鳥の声に耳を澄ませたり、清々しい顔だったり表情に変化が見られた。 気候の良い時には積極的に取り入れたい。
5	屋外活動（散歩・森林浴） 春の木 創作	
6	てるてる坊主創作	柄の布で作成した、てるてる坊主を傘に結びつけ仲間たちの指でかさに水玉模様を付けた。出来上がりを見てニコニコしていた。

7	夏祭りに向けての創作	仲間たちの模様をつけた水風船を、夏祭り会場の中央に華やかに飾り付けることができた。
8	夏祭りステージ練習	仲間の合同のステージ練習で仲間とのつながりが持てた。
9	屋外活動（散歩・森林浴）	涼しくなってきた気候の中で、仲間の生き生きとした表情が見られた。
10	屋外活動（散歩・森林浴）	
11	手紙創作	トイレットペーパーを小さくちぎる作業。ペットボトルで水をまぜる作業。網の上で伸ばしていく作業。紙ができるまでの一連の流れが体験できた。
12	日帰り旅行 ふれあいコンサート	仲間や職員としっかりとふれ合うことができ、よく笑い、声も出ていた。
1	雪うさぎ創作	紙粘土で各仲間の手で形を作ることで感触を体験できた。作品はそれぞれ個性があり、家に持って帰ってもらった。
2	ひな人形創作	紙皿を利用し作成。職員と一緒にマジックを持ち、それぞれの仲間の手の動きで模様や顔を描く。自己表現できた。
3	1年の振り返り 清掃	

社会福祉法人たまご会 2014年度（リラク）グループ 事業計画書

リラクグループ 年間のねらい	日々の体調変化に気をつけ、リハビリやリラククスできる時間を持つ。 四季を感じる作品作りを通し、自己表現でき達成感を感じることができる。 作品作りや運動を通し、仲間同士のつながりを深めていく。
-------------------	---

	事業名	ねらい・目標
4	屋外活動（散歩・森林浴） 運動・読み聞かせ	暖かな陽気の中で鳥の声や春風を感じながらの活動
5	屋外活動（散歩・森林浴） 運動・読み聞かせ	
6	梅雨作品創作 運動・読み聞かせ	じめじめした梅雨をカラフルにし、屋内で楽しめる創作活動
7	夏季作品創作 運動・読み聞かせ	夏の暑い季節 涼しさを音色で楽しめる 創作活動
8	夏祭りに向けてステージ練習・創作 運動・読み聞かせ	仲間と協力しながらひとつの行事の楽しさを感じる。

9	屋外活動（散歩・森林浴） 運動・読み聞かせ	少し涼しくなった季節 虫の音色や風を感じながら空を見上げ、秋を感じる。
10		
11	ふれコンに向けての活動 運動・読み聞かせ	音楽を通して仲間とふれ合いつながりを感じる。
12	クリスマス創作 運動・読み聞かせ	クリスマスの自分の作品を飾りつけていき、仲間とひとつの作品を作りクリスマスを味わう。
1	冬季作品創作 運動・読み聞かせ	完成するまでのひとつひとつの作業に参加し、その過程を体験する。
2	ひな祭りに向けての創作 運動・読み聞かせ	それぞれの個性あるひな人形を完成させる。
3	1年の振り返り 清掃	1年間それぞれががんばった事を思い出し、新年度に向けての意欲向上を目指す。

社会福祉法人たまご会 2013年度(大地)グループ 事業報告書

担当職員(平)

大地グループ 年間の反省と成果	グループが安定し落ち着いて作業できるようになった。毎月の振り返りをする事で目標を決め、月目標達成することができた。昨年度より売り上げも増え、ひとり一人の仕事も定着し仕事への意欲を高めることができた。自分だけでなく他の仲間も認め合えるようになればと思う。
--------------------	--

	事業名	反省・成果・課題
4	看板作り(ペットボトル使用) 港まつりに向けて 国立清掃	自分たちで作った素材で看板を完成できた。集中して取り組んでくれ達成感を得てもらえた。 販売に向けて間に合うよう意識しながら取り組めた。
5	フォトフレーム素材集め シャレオにフォトデビュー	気分転換も含め、みんなで海に行きフォト用の貝ひろいをし、商品作りへの関心に向けていった。 新しい販売先に興味・期待
6	夏季販売チラシ作り フォトフレームづくり(買い物)	販売促進に向けて仲間の言葉や絵を使ってチラシ作りをすることができた。 フォトフレームづくりでは役割分担をすることができた。
7	夏季販売配達 夏祭りに向けて	フォト・キャンドルの注文がたくさん入り、それぞれの作業に力を入れてもらえた。売り上げをみんなで喜ぶことができ達成感を得てもらった。配達にも関わり仕事への意識を高めていった。
8	夏祭りに向けて フォトフレーム・キャンドル	販売用POPやラッピングについて意見を出し合った。 夏祭り当日の販売にもっと関わるようにしたい。
9	アートルネサンス作品作り (ペットボトル使用)	塗る、切る、貼る、の作業でひとりひとりできることを選びながら、一つの先品を完成。作品名もみんなで決め完成を喜ぶことができた。
10	冬季販売チラシ作り 販売用POP作り	販売促進に向け仲間の言葉、絵を使ってチラシ作りをすることができた。フォト・キャンドルのラッピング用POPを冬バージョンに。

1 1	冬季販売 キャンドル・フォトフレームづくり	商品作りでそれぞれができることを集中して頑張ってくれた。夏季販売以上の売り上げがあり、みんなで喜ぶこともできた。クッキーとの連携販売もできて良かった。販売も落ち着き、みんなで棚の掃除や在庫整理をした。積極的にやってくれる仲間が多く見られた。
1 2	↓ チャレンジ週間・片づけ	
1	新商品考案「たまだるま」買物・試作	今の商品から離れてみんなで一つの商品を仕上げられるものを話し合った。いろんな意見を聞きながら進めていき、みんなで試作しようと思った。
2	「たまだるま」作り	ほとんどの仲間が作業工程に関わることができた。最初は難しそうでは仕上げまでは無理かと思ったが、だんだん上手になってきた。
3	「たまだるま」作り ラッピング 今年度の振り返り	POP やラッピングについて仲間に多くの意見を出してもらい販売に向けていく。販売先も考える。

11月から「レスパイトチャレンジ」ベッドメイキングの回数を増やしたり、やっていない人も参加できた。今までやったことのない仲間にもチャレンジしてもらい、できそうな仕事を探した。

社会福祉法人たまご会 2014年度(大地)グループ 事業計画書

大地グループ 年間のねらい	新商品「たまだるま」販売の定着と拡大に向けて作業を行う中で、仕事への意識を高めながら、仲間ひとりひとりの力を引き出し発揮できるよう取り組んでいく。毎月の振り返りを行い、目標を立てることでそれぞれの責任感・達成感につなげていく。お互いのがんばりを認め合いながら、集団意識、他者への思いやりにつなげたい。
------------------	--

	事業名	ねらい・目標
4	「たまだるま」作り 港まつりに向けて 国立清掃	「たまだるま」7色完成 新商品の完成をみんなで喜び販売に向けていく。
5	↓ ラッピングの素材集め 販売方法、販売について	ラッピング素材(自然のもの)集めを仕事として行いながら、気分転換も含め、みんなで外出。
6	夏季販売チラシ作り 「たまだるま」作り	販売売上を意識しながら、仲間の言葉、絵などを用いてチラシ作りに力を入れる。
7	夏祭りに向けて 「たまだるま」・試作品づくり	夏祭りに因んだ「たまだるま」や夏祭り限定商品を考える。
8	↓	夏祭り当日、販売に関わってもらい、仕事への意欲につなげていきたい。
9	アートルネサンス作品作り	中休みとして、仕事から少し離れ、短期での作品作りを楽しみながら完成を目指す。仲間の個性を引き出せるような作品作り。
10	冬季販売チラシ作り 「たまだるま」作り	今年度に入ってから販売を振り返りながら、売上げUPを意識しながらチラシ作りをする。
11	ふれコンに向けて	冬季販売、ふれコンに因んだ「たまだるま」や季節を考えながらの商品として考えてもらい、仕事への意識を高め作業に取り組んでもらう。 販売イベントとの報告、お疲れ様会などで達成感を得てもらいた

1 2	お疲れ様会	い。
1	新商品考案	大地グループの仲間みんなで取り組める商品作りを目指す。
2	新作品作り ↓	仲間ひとりひとりが力を発揮できる作業を見つけ完成させることで集団意識・達成感・仕事への意欲につなげていく。
3	今年度振り返り	1年を通しての売り上げ発表、お疲れ様会を行い、次年度へ向けて意欲的になってもらいたい。

清掃グループ・・・固定の仲間以外にも目を向け、やる気のある仲間、できそうな仲間にも挑戦してもらい、増員をめざし給料につなげていきたい。ベッドメイキングのレベルUPも図っていきたい。

社会福祉法人たまご会 2013年度（絆）グループ 事業報告書 担当職員（若狭・高山）

絆グループ 年間の反省と成果	活動の流れが仲間の中でも理解され、仲間同士の関係性も構築され、集団を意識した取り組みがなされ始めている。 課題として、給料につながる商品を開発し製造していく。
-------------------	--

	事業名	反省・成果・課題
4	ストラップづくり 港まつりに向けて	新しい仲間も加わり、みんなで作業を覚えていった。
5	しおり作り	まゆ玉づくりに関わることで仲間のできる作業を増やした。
6	夏季販売に向けて しおり作り	関われる仕事内容の中で仲間同士の関わりも生まれ始めている。
7	夏季販売配達 売上表作り	売り上げを視覚に訴えモチベーションにつなげると共に、配達や販売への喜びへとつなげた。
8	新作づくり お楽しみ会	新商品づくりには至らなかったが、夏祭りへの企画には参加すると共に、夏祭りでの売り上げを皆で喜び、次の仕事へとつなげることができた。
9	アートルネサンスに向けて	新しい活動を通して仲間同士が結束し作品を作ろうと心がけた。グループでの活動を意識付けしながら取り組んだ。
10	アートルネサンスに向けて	作品作りに集中して、売上表が止まってしまった。しかし、全員で関わる仕事のできた達成感を皆で分かち合った。仲間の大切さを改めて感じ合った。
11	冬季販売に向けての新作づくり	まゆ玉の使い方が決まらず、何度も話し合うことで、まるめる作業が決まり、自分たちで決めて作る作業を楽しめた。
12	新作づくり	7月から取り組んだ新作が、ようやく形になり始めた。

1	ストラップづくり お楽しみ創作	店で売る物だけではなく、各自が持って帰れるプレゼントも作った。
2	新作づくり お楽しみ創作	新作の売れ行きが伸びず、どうすれば良いか何度も仲間と話し合った。ひな祭りへの向けての創作もし、息抜きもした。
3		

社会福祉法人たまご会 2014年度（絆）グループ 事業計画書

絆グループ 年間のねらい	仕事を通して日々の達成感を感じてもらい集団の中でお互い助け合う力をつける。 ひとり一人ができることを増やし給料へとつなげていけるようにする。
-----------------	---

	事業名	ねらい・目標
4	新ストラップづくり 港まつり	自分たちで新しいものを作っているという実感を持つ。イベントへの意識付けをする。
5	新ストラップづくり	売り上げを伸ばし、仲間のやる気につなげる。
6	活動見直し 夏季販売へ向けて	新ストラップの見直し。仲間から意見を聞き、やりがいを持って活動ができるようにする。
7	夏季販売へ向けて	グループとして販売に関わり、結束力を持つ。
8	夏祭りに向けて	地域との交流を中心に、イベントの成功に向けて取り組む。
9	アートルネサンスへ向けて ストラップづくり	販売とは違った新しい発想を引き出す。それぞれの長所を生かした作品を作る。
10	アートルネサンスへ向けて ストラップづくり	販売とは違った新しい発想を引き出す。それぞれの長所を生かした作品を作る。
11	冬季販売へ向けて ふれコンへ向けて	まゆ玉作りも取り入れつつ、グループとして販売に関わり結束力を持つ。
12	活動見直し	1年の振り返りをし、仲間同士で成長を実感し合う。
1	ストラップづくり お楽しみ会	仕事だけではなく楽しむことを中心にした活動を行う。
2	ストラップづくり	仕事を通して、それぞれの目標に向けて取り組む。

3	ストラップづくり	仕事を通して、それぞれの目標に向けて取り組む。
---	----------	-------------------------

③ レスパイトルームたまご」(ショートステイ事業)としての取り組み

2013年度におけるショートステイ稼働日数は、273日(昨年264日)。利用総人数 1027人(昨年 1015人)であることから、土・日等の実施をしない限り、頭打ちとなります。基本的には利用者の希望に沿った形で、正月・盆と稼働しています。1か月あたり120万円から140万円前後の運営費があり、職員2名を中心に、男性職員を中心に稼働しています。

④ ケアホームたまご(共同生活介護事業)としての取り組み

⑤土曜日開所の取り組み

2013年度も引き続き、月4回の土曜日開所を実施してきました。1週目DVD鑑賞会 2週目クッキング 3週目スポーツレクリエーション 4週目レクリエーションといった活動内容で実施している。1回の開所で40名～50名という利用者数で、昨年と比べても10名程度利用増となっています。

3. 職種職員数

別紙 職員配置図 参照

4. 組織体制

別紙 組織図 参照

5. 勤務体制、時間等

社会福祉法人たまご会 日課表			
月・火・木・金		水	
8:00	職員朝礼	8:00	職員朝礼
8:15	送迎出発	8:15	送迎出発
	清掃		清掃
10:20	利用者 朝の会	10:20	利用者 朝の会
	午前活動		午前活動
12:00	給食開始	12:00	給食開始
13:00	給食終了	13:00	給食終了
13:20	清掃	13:20	清掃
	午後活動		帰りの会
15:00	帰りの会	13:45	送迎準備

15:30	送迎準備 送迎開始	14:10	送迎開始
16:45	送迎終了		清掃
		16:00	帰所 職員会
			業務等
17:00	業務終了	17:00	業務終了

6. 職員研修実施内容

2013年度職員研修一覧表（内部）

回数	日時	研修内容	対象
1	5月7日 ～5月10日	新任研修 たまご会の歴史と理念・障害特性について・「どんぐりの家」鑑賞・実践に関して・食事、排泄、入浴介助・送迎支援	新任職員2名
2	5月20日 ～5月29日	情勢 ・制度の最新動向・現代日本の社会保障の構造と将来の対決点 改憲バスに乗る前に 実践 ・子どもを理解しよう・問題行動の何が問題か？・仕掛けて待つ！・障害児教育という名に値するもの 読み合わせ学習 ・生きがい・・・人と人が支え合うからやりがいがある。	職員 パート職員
3	9月19日 10月1日	情勢 ・参議院選後、急展開を見せる障害者施策などの動向と当面するわたしたちの運動・2014年度の障害者支援区分—何がどのように変わるのか 歴史認識 ・歴史の真実を学ぶ 人間の尊厳 ・浅井基文「人間の尊厳」を考える 実践に関して ・三木裕和「障害児教育という名に値するもの」白石正久「共感の連鎖を生み、他者との共同を創りだす」	職員 パート職員
4	9月18日	「市政を語る ～市庁舎建て替え問題について」 呉市議会議員 奥田和夫さん	職員 パート職員
5	10月22日 ～10月29日	障害のある人への虐待を考える 事前課題 ・滋賀県サングループ事件全容のまとめ・事例から考える ・職員セルフチェック 実践 ・「障害」のある人の「困り感」を「感じる」高谷清・人生をともに歩むパートナーと考えてきたこと 家平悟さん・「施設職員へのアンケート～性について悩んでいること困っていること」・虐待防止マニュアルについて・障害のある人への虐待を考える 読み合わせ学習 「笑顔の支えになってください。」	職員 パート職員
6	11月22日 ～11月26日	新任研修 たまご会の歴史と理念・障害特性について・「どんぐりの家」鑑賞・実践に関して・食事、排泄、入浴介助・送迎支援	新任職員1名
7	12月21日	みんなで作るモデル行動	職員

8	1月4日	ケース検討会議	職員
9	1月4日	みんなで作るモデル行動	職員
10	1月6日 ～1月10日	はじめに ・「今」を楽しむ 情勢 ・障害者権利条約締結へ！・障害者雇用の制度と現状・DSM-5 への改訂と発達障害の主な変更点 実践 ・仲間のねがいを大切に「労働」を考える・障害児教育と いう名に値するもの「いうことをきかない」「達成感がない のはなぜ？」	職員 パート職員
11	1月8日	新任研修 たまご会の歴史と理念・障害特性について・「どんぐりの家」 鑑賞・実践に関して・食事、排泄、入浴介助・送迎支援	CH職員
12	2月19日	ケース検討会議	職員 パート職員
13	3月5日	ケース検討会議	職員 パート職員

2013年度職員研修一覧表（外部）

回数	日時	研修内容	参加者
1	5月11日	きょうされん県支部総会	若狭・仲間4名
2	6月12日	県相談支援事前研修	久保
3	6月18～21日	相談支援従事者指導者養成研修会（所沢）	久保
4	6月22日	きょうされん県支部連続講座	沼田
5	7月5・26日	県相談支援従事者リーダー研修	久保
6	8月23・24日	きょうされん安居楽業はたらく	久保・沼田・灰原
7	8月28日	県相談支援従事者事前研修	久保
8	9月9～11日 10月23～24日 12月16～20日	痰の吸引研修	竹本
9	9月11・12日 25～27日	県相談支援従事者研修	久保・原田
10	9月21・22日	きょうされん全国大会 in 福島	室・原田・岡本
11	10月2・3・4日 16・17・18日	県相談支援従事者研修（広島・福山）	久保
12	11月2・3日	きょうされん新任研修	高山・在永
13	11月18・19日	あいほうぶ吹田施設見学研修（大阪）	平・灰原
14	11月28日	広島県サービス管理責任者研修	原田・灰原
15	1月13日	県集団研修	岡本・室
16	1月7・8日	サービス管理責任者研修（児童）	灰原
17	1月21～23日	相談支援従事者現任研修	久保・灰原
18	1月24・25日	きょうされん経営管理研修会 in 横浜	在永・室・灰原
19	1月27・28日	サービス管理責任者研修	原田
20	2月8・9日	きょうされん実践交流会	室・原田
21	2月21日	県社協メンタルヘルス向上研修会	清水
22	2月28日	社会福祉施設防災安全研修	竹本
23	3月3～12日	痰の吸引研修	原田・若狭
24	3月5日	県ワーキング研修	久保
25	3月6日	障害者虐待権利擁護研修	竹本
26	3月12日	県社協パッケージ研修	和田・辻

27	3月27・28日	ワイエムコンサルティング新任研修	高山
----	----------	------------------	----

7. 2013年度 年間行事実施内容

	行 事 内 容
4月	11日：お花見 17日：芝桜見学会 18日：菓子博内覧会 19日：もみじ作業所の仲間との交流会 29日：みなと祭り
5月	9日：郷原小学校3年生との交流会 25日：避難路「ひだまりの架け橋」完成式 26日：郷原小運動会 31日：たまねぎ収穫
6月	29日：後援会総会
7月	5日：七夕まつり 18・19日：野呂山学園作品展
8月	2日：平和行進 31日：夏まつり
9月	2日：健康診断 21日：郷原保育所運動会リハーサル 29日：わいわいふれあい交流会
10月	19・20日：郷原町文化祭 27日：福祉まつり
11月	22日：郷原保育所発表会リハーサル 29日：日帰り旅行
12月	4日：ふれコンリハーサル 6日：街頭署名活動 7日：ふれあいコンサート 14日：呉港高校プラスバンド部演奏会 20日：クリスマス会 25日：そばうち大会 28日：仕事納め
1月	7日：初詣 17日：新年会（もちつき） 24日：新成人を祝う会
2月	3日：節分祭り
3月	1日：新車贈呈式 24・31日：健康診断 28日：年末賞与授与式

8. 職員会議・災害訓練

	職 員 会 議 内 容
4月3日	今年度組織打ち合わせ
6月5日	夏季販売の取り組みと試食会
7月10日	夏季販売仕分け作業
10月2日	冬季販売の取り組みと試食会
12月4日	ふれあいコンサートに向けての取り組み
1月日	個別支援計画の説明
2月6日	グループ別事業報告 ショートステイ会議
2月28日	ケアホーム防災避難訓練
3月25日	たまご会地震災害防災避難訓練
3月27日	次年度組織について 各グループ活動計画
毎週1回	グループリーダー会議

9. 衛生管理・建物維持管理

- ①害虫駆除、調査 →毎月1回
- ②浄化槽点検 →毎月1回
- ③エレベーター点検 →毎月1回
- ④エレベーター年次点検→年1回（平成25年11月）
- ⑤貯水槽清掃 →年1回（平成25年11月）
- ⑥建物定期検査 →年1回（平成25年12月）
- ⑦浄化槽汚泥抜取 →年1回（平成25年5月）
- ⑧消防設備点検 →年2回（平成25年4月・10月）
- ⑨電気設備点検 →年6回